

# 地域密着型特別養護老人ホーム萩の風サテライト 令和元年度 第10回運営推進会議

開催日時 令和元年9月26日(木) 15:00 ~ 16:00

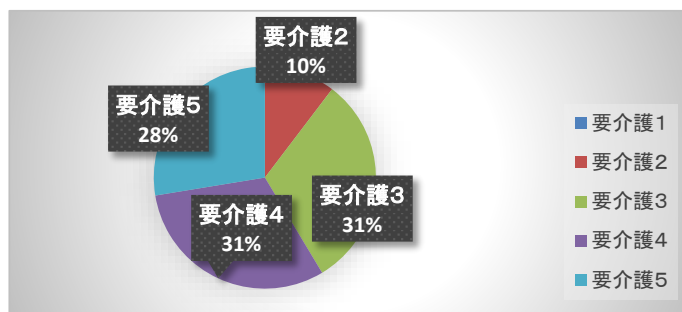
開催場所 地域密着型特別養護老人ホーム萩の風サテライト 多目的室

出席者	ご所属	氏名	参加
	利用者様のご家族	●● ●● 様	○
	利用者様のご家族	●● ●● 様	○
	民生児童委員	●● ●● 様	○
	沖野地域包括支援センター	●● ●● 様	○
	(有)福祉サポート仙台東	●● ●● 様	○
	仙台市介護相談員派遣事業 介護相談員	●● ●● 様	○
	社会福祉法人ウエル千寿会 統括施設長	●● ●● 様	○
	萩の風サテライト 施設長	●● ●● 様	○
	萩の風サテライト 介護副主任	●● ●● 様	○

## 1. 入居者状況 (令和元年9月15日現在) (単位:人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	0	0	2	3	2
女性	0	3	7	6	6
合計	0	3	9	9	8

入居者数29名 平均介護度4.1



## 2. 利用状況

令和元年9月15日現在

### 仙台市区別受入れ状況(単位:人)

地域	若林区	宮城野区	泉区	太白区
令和元年7月まで	44	1	0	0
8月	0	0	0	1
9月	0	1	0	0
<b>合計</b>	<b>44</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>1</b>

### 若林区地域別受入れ状況(単位:人)

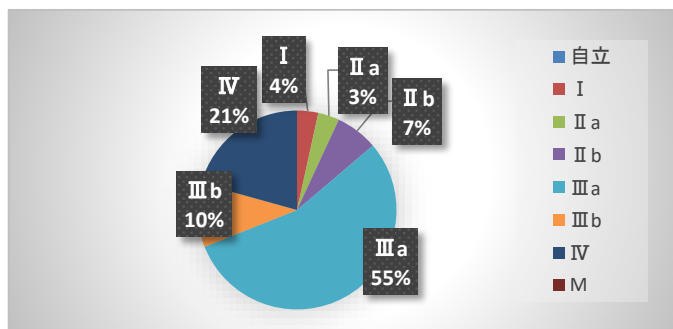
地域	上飯田	下飯田	沖野	今泉	日辺	若林	霞目	蒲町	遠見塚	古城	荒井	白萩町	中倉	卸町	石名坂
令和元年7月まで	5	1	18	4	1	3	1	1	1	1	2	1	1	1	1
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>合計</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>19</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>

### 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用状況 (単位:人)

※認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態がみられる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
9月15日時点	0	1	1	2	16	3	6	0	29



#### 入所希望者状況(月末時点※9月15日現在)

	7月	8月	9月	
入所待機者数(人)	82	86	89	平均85.7人
新規入居者数(人)	0	1	2	3人
入居者平均待機期間(月)	0	6.5	8.13	7.32ヶ月

#### 退居者状況(月末時点9月15日現在)

	7月	8月	9月	
退居者数(人)	1	2	0	合計3人
平均利用期間(月)	18.25	18.9	0	18.58
退居理由	逝去	医療処置希望2名	なし	

#### 稼働率(月末時点※9月は見込み)

	7月	8月	9月	合計
稼働日数(日)	899	899	870	2,668日
全体[延べ利用人数]	899	872	859	2,630人(予定)
稼働率[入院者含む]	99.4%	97.0%	98.7%	平均98.4%(予定)
入院期間(日)	27日	71日	49日	147日
入院理由	・尿路感染、肺炎6日～ ・心不全15日 ・大動脈瘤破裂4日 ・心不全2日	・尿路感染、肺炎21日 ・心不全19日 ・大動脈瘤破裂31日～	・心不全19日～ ・大動脈瘤破裂30日～	5名の方が入院治療
稼働率[入院者除く]	96.4%	89.1%	93.1%	平均92.9%(予定)

### 3. 事故報告(令和元年7月16日 ~令和元年9月15日まで)

サービス提供中に起きた事故について報告します。

事故項目	件数(件)	詳細
転倒・転落	4	①目を離した際、筆筒に頭をぶつけ、しりもち ②靴を履こうとし滑り、転倒 ③体調不良時、普段通りご自分で移乗ししりもち ④トイレに行こうとベッドから転落
誤飲・誤嚥	0	
外傷	1	①移乗時車椅子にぶつかり表皮剥離
入浴中の事故	0	
服薬事故	3	①臨時薬のセットミスによる服薬忘れ(2件) ②宿便時の下剤与薬忘れ
利用者様同士のトラブル	0	
離設	0	
その他	0	

#### 事故の対応策

##### 【転倒・転落】

- ①多動な際は目を話さず、隣のユニット職員へ応援を要請する。
- ②床が滑らないよう床掃除を徹底し、居室が暗い際は電気をつける。
- ③体調不良時は見守りの回数を増やしていく。
- ④水分や起床の声掛けに限らず、定期的に様子を確認する。ベッドの高さを最低床にし床にマットを敷く。

##### 【外傷】

- ①移乗時不安な際は、二人介助行う。

##### 【服薬事故】

- ①定期薬と同じよう臨時薬も薬札に記入し且つ、剥がれ落ちないようにする。また、薬札に目を配りカセットの中身を見ながら薬を出す。
- ②前日の宿便日数、口頭での申し送り、ケアラボの個人ページを確認する。

#### 4. 身体拘束について

令和元年7月16日～令和元年9月15日において身体拘束を行った事案はございませんでした。バットニュースと題して不適切ケア(虐待や身体拘束に至らないがそこに繋がる行為)について抽出し、検討し対策を行い目指すべきケアの方向性、ケアの質上げを行う取り組みを7月1日より開始しております。

①報告日時:令和元年7月9日 19:00頃

場所:萩の風サテライト

内容:入居者様の座っている後ろに椅子を配置してしまい自由に動けない状態にみえる環境を作ってしまった。

対応策:このような状況が「身体拘束」という認識を職員一人一人が自覚し対応を継続する。

②報告日時:令和元年7月11日 20:00

場所:萩の風サテライト

内容:利用者様より「職員に支援して欲しいことを依頼した際に無言で行ってくれたが威圧的な態度だった。その時、床が汚れてしまったが片付けずにその場を去って行った」と話がありました。利用者様は「何かされたら嫌だから」と依頼しづらくなったと話がありました。

対応策:「無言」は「無視」ととらえられてしまう可能性があ虐待に繋がりがかねない。声がけ、聞く姿勢を見直ししケアを行うよう徹底する

③報告日時:令和元年7月10日 21:00

場所:萩の風サテライト

内容:利用者様より「先日の入浴でお湯が熱かったので、職員へ伝えると今回はぬる過ぎて寒かった」と話があった。

対応策:基本である当事者同士で意見を言える関係性の構築を図る。思いをくみ取る姿勢、働きかけを行っていくよう周知する

④報告日時:令和元年7月13日 10:20

場所:萩の風サテライト

内容:利用者様より「何かお願いしてもはっきりと断られてしまう。言い方がきつい。その人が来ると思うと夜も眠れない」とお話がありました。「その人の時にはなにも言わないようにしている」と話がありました。

対応策:心の余裕が持てずに言葉や態度に出てしまっている可能性がある。専門職として伝え方を再度見直す必要がある。周りの職員も注意し合える関係性を築いていく。

## 5. 苦情報告について

令和元年7月16日～令和元年9月15日において苦情事案はございませんでした。

## 6. 外出・行事活動報告(令和元年7月16日～令和元年9月15日まで)

外出や施設内での行事は下記の通りになっております。

日程	外出・行事	参加人数
7月17日	1階 流しそうめん	16名参加
7月19日	2階 ○○様誕生日会	4名参加
7月29日	2階 スイカ割り	17名参加
8月5日	1階 バーベキュー・スイカ割り	16名参加
8月6日	2階 ○○様誕生日会	7名参加
8月11日	萩の風夏祭り	35名参加
8月22日	居酒屋わっしょい!	35名参加
8月22日・28日	花火大会	15名参加
9月7日	2階 楽天試合観戦リベンジ!	1名参加
9月15日	敬老会	25名参加

### 行事予定表

日程	外出・行事	参加人数
9月17日・20日	1階 外出	名参加
9月19日	2階 水族館外出	名参加
10月18日	1階 芋煮会	名参加
10月20日	開所記念	名参加
10月25日	園芸センター	名参加
11月	1階 紅葉外出	名参加
11月	2階 紅葉外出	名参加

## 8. 委員の皆様より

地域包括支援センター●●様:改めて虐待に繋がる可能性のあるグレーゾーンケアについて学ぶことができました。あまり施設の事は存じ上げない部分が多くございましたが、運営推進会議を通して様々な気づきがあり、利用者様の気持ちも知る事ができ、今後の地域支援に役立てていきたいと思っております。

ご家族様(●●様):萩の風サテライトを選んだ理由としては、多くの笑顔が溢れているから選びました。バツニュースについて、何かお願いしてもはっきり断られるとありましたが、どのような状況か教えていただきたいです。

菅原施設長:オムツ交換時の「お待ちください」や「今は難しいです」の声がけや、コールあった際の声がけにて対応が難しいことを伝える際の声がけが主な原因でありました。

ご家族様(●●様)

少しお待ちくださいの少しは価値観がありますので、丁寧な対応を心掛けていかないと関係性が崩れてしまうので注意が必要です。私のイメージとしては施設は寝かせて、起こして、食べさせてとありましたが、それだけではなく、こんなにも多くのイベントがあり、とても自宅ではできないことをやっていたので本当にありがとうございます。

ご家族様(●●様):現在父が入院しておりますが、100%助からないという状況から、今、助かり生きていることもホームがあったからこそと思っております。病院ではミトンや拘束受けてますが、父が帰りたいと体を起こして、管を食いちぎった事があったんです。それで、どこに帰りたいの？家？と聞いたら、うん違うっていうんです。じゃ、どこ？ホーム？って聞いたら、“うん”って言うんです。帰りたいのはホームだって言うんですよ。ここが父のホーム(家)なんだなあって思ってます。もっと多くの方にこのホームの良さを分かって欲しいと思っております。いつも感謝してますが、今回さらに感謝しました。

バツニュースにてありましたが、苦しい時や何か助けて欲しい時訴えの対応の際の対応により、印象が決まって損をしてしまうことがあります。気をつけていきましょう。

民生児童委員 ●●様:地域活動していると一人暮らしの方と多く接する機会があります。比べる分けではございませんが、施設をみると、皆さん本当に楽しく生活されているなあと印象です。ここに入居出来て幸せだなあと思っています。私の母も10年前に施設に申し込みましたが、何年待ちという状況で入居前に亡くなってしまいました。今は7カ月くらいの待ちで入居出来ているのですね。

菅原施設長:入居基準点数とご本人様、主の介護者様の状況から入居が決まりますので、現在もお待ちになられている方の中には長期間お待ちになられている方も多くおられる状況です。

(有)福祉サポート仙台東 ●●様:私も同じ福祉の仕事の経営者として、今回、ご家族様のお話をお聞きし、本当に経営者日和に尽きる話だと思いました。そのようなお話を多くいただけるサービスの提供を目指しており、この場を共有できて良かったと感じております。私の職場でも、ここで得たサービスを見本に働きかけを行っている状況です。特養のケアをみて、こんなの嫌だと思ひ会社を作った経緯もあります。今の特養は違うとイメージが変わりました。運営推進会議を通し一緒に勉強させていただいております。

仙台市介護相談員派遣事業 ●●介護相談員様:東京にて成果報告会に参加した際に、いろんなところで虐待の話が出ておりました。宮城県では少ない方でございますが、特養の虐待も増加傾向にあるという事でした。施設の中には問題意識を持たずに虐待に繋がる行為を平気で行っている施設が多くあると聞いております。そんな中で、こちらの施設は情報をオープンとし、虐待に対する問題意識を持ち運営していると思っています。私としてはこの施設は施設のモデルになれる程、細かい視点で良いケアを行っていると思います。今後も是非勉強させていただければと思います。

ご家族様(●●様):娘がケアコラボを登録しており、私に教えてくれるんですが、父が入院してからずっと記録に職員からの温かい励ましのメッセージが入るんです。父は家族以上に嬉しいと思っております。今日もホームに来るといろんなスタッフから「大丈夫ですか?」「帰ってこれそうですか?」と声を掛けてくれるんです。父のいるフロアでない1階の職員からも話されるんです。そんなに温かみのある所は無いと思っております。本当にありがとうございます。

## 9. 統括施設長田中より

本日、皆様にお知らせした行事はあくまでも全体行事でございます。日常生活の中でイベントは多く存在し、本日はザリガニが多くいるとのことにてザリガニを取りに行くイベントが発生しました。当施設は生活の地域の延長であるという事を意識してサービス提供を行っております。ご家族様の思いを本日、私と菅原、村松がお聞きできたのはとても貴重なことであると共に、日々ケアに携わり頑張っているスタッフに聞いていただきたかったという思いでいっぱいです。先ほど説明させていただきましたバットニュースのように細かい視点の気づきも大切ですが、バットニュースや事故報告書、ヒヤリハットはとても大事ですが、どうしてもネガティブのイメージが強くなってしまいます。「絶対転ばさないでくれ」「誤嚥させないでくれ」「立たせないでくれ」と要望される声を、すべて鵜呑みにし支援すると窮屈な生活の提供に繋がりがかねない状況が間違うと委員の皆様よりお話頂きました状況となってしまいます。当法人ではネガティブな報告書だけではなく、良い通り組を行った気づきの報告書もあげていただき、共有する事で職員の仕事のモチベーション向上、質上げを行っております。今後もこの地域ならではの温かみのある施設運営を目指してまいりますので、引き続きご指導お願いいたします。

次回開催：令和元年11月28日(木) 15:00～開催予定